

教科名	数学		学年	3	教科書 補助教材 等	数学Ⅲ(数研出版) 4ステップ(数研出版)		
科目名	数学Ⅲ		単位数	6				
科目担当者	砂原、川村							
科目の到達目標	極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技術の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。							
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考		
一学期	4	関数、数列の極限、複素数	数列の極限を求められるようにする。また、複素数の考え方の有用性を認識させる。家庭学習		15			
	5	関数の極限、導関数	関数の極限と数列の極限の違いを認識させるとともに求められるようにする。また、導関数を求められるようにする。 家庭学習		13			
	6	関数のグラフ、複素数平面	複素数平面上で考察することの有用性を認識させる。		23			
	7	速度、加速度	速度、加速度を求められるようにする。		4			
二学期	9	不定積分、定積分	いろいろな関数についての積分法を理解し、その有用性を認識させる。		16			
	10	2次曲線、区分求積法	図形の求積などをもとめられるようにする。		18			
	11	面積、極座標、極方程式	図形の求積などをもとめられるようにする。		18			
	12	センター対策、2次試験対策	3年間の復習をするとともに、マーク試験に対応する力を育てる。		10			
三学期	1							
	2							
	3							
年間授業時間数計	117		1学期	57	2学期	60	3学期	0
学習上の留意点	3年間を総括した分野であるから、1、2学年次の既習内容を振り返り、繰り返し指導する。							
評価の観点					評価方法			
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、極限、微積分法における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方を認識し、活用しようとする。					ノート記述・発表・テスト		
思考・判断・表現	事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考える。							
技能	事象を数学的に考察し、処理し表現する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。							
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付け、それらを応用することができる。							